

件名	6号機における制御棒操作監視系の警報の発生について
通報日	平成16年3月29日
概要	<p>当所6号機は現在、運転中ですが、平成16年3月29日午前2時30分頃、制御棒操作監視系の不具合を示す警報が発生し、関連する制御棒8本の操作系が一時的に動作できなくなりました。</p> <p>このため運転員は制御盤の確認等を行った後、定められた操作手順に従って、二重化されている制御装置のうち、警報の発生原因となった一方の制御装置を切り離したことにより、約1時間後に警報はクリアし、制御棒の操作系は正常に復帰いたしました。</p> <p>当該警報が発生した際には制御棒の操作はしておらず、また、制御棒の緊急挿入機能は確保されていたことから、プラントの安全上の問題はありませんでした。</p> <p>なお、不具合のおそれのある制御装置については、同7時過ぎに装置内にある基板の交換を行っております。</p> <p>(平成16年3月29日 ホームページ公表内容)</p> <p>http://www.tepco.co.jp/kk-np/nuclear/pdf/16032901.pdf</p>